



ごあいさつ

保育士部会 部会長 山本 隆子 (松江市保育研究会 ひよし第2保育園)



今年度より、保育士部会・部会長を務めさせていただきます、ひよし第2保育園の山本と申します。私が、保育園に勤務し始めた頃は、同級生の子どもさんをお預かりしておりましたが、今では、同級生のお孫さんをお預かりする年齢になりました。私自身、年は重ねておりますが、これまでこのような大役をお受けしたことが無く、私に務まりますかわかりませんが、皆様に支えて頂きながら進んで参りたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

さて、また、私の話になりますが、私が生まれ育ったところは、山野に囲まれ、田畑の広がる、本物の田舎町でした。家族が田畑で作物を作っていたこともあり、小学生の頃から農繁期には、イヤイヤですが、手伝いをしていました。決して、主体的ではありませんでしたが…。今となっては、身体全部を動かして、繰り返し同じ作業をすることは、私を育ててくれる環境であったのではないかと思い感謝しています。

今後も、この感謝の気持ちを持ちながら、子ども達の現在や未来のために、保育者の私ができることをしていきたいと考えています。重ねて、どうぞよろしくお願い致します。

「第63回 島根県保育研究大会」について

ご案内

【開催期日】令和4年12月17日(土)

【開催地】大田市 【会場】大田市民会館

令和4年度 島根県保育協議会 保育研究大会 大田市開催を迎えるにあたって

岩倉 善光(大田市保育研究会 会長 認定こども園みどり保育園)

大田市は県の中央に位置し、国立公園三瓶山・天然記念物の琴ヶ浜・世界遺産の石見銀山といった豊かな自然と歴史に囲まれた穏やかな地域です。

新型コロナウイルス感染症により、先生方は新しい生活様式の中、日々の保育に尽力されていることと思います。11月に開催予定の大田市大会では、笑顔で共に学び合える大会にしたいと実行委員一同準備をしております。

「3密」を避けるという状況下の中、「密」を避けられない保育の現場で、懸命に保育に取り組んでこられた先生方に対し、大会が子どもたちの豊かな心を育み、そして未来に向かっての大きな力になる事を願っています。



新体制となり、今期はこのメンバーで調査編集委員と総務研修委員を担当しています。皆さんに参加して良かったと思ってもらえるような研修を、そして広げて笑顔になってもらえるような『てつなぎ』の編集を目指して来年度の活動も意欲的に頑張っていこうと思います。

井上 智子 (出雲市・神門第Ⅱ保育園)

初めて保育士部会の役をさせて頂きました。他園の先生方と接する機会もでき、学ばせてもらった一年でした。

武間 佐都子 (大田市・認定こども園 あゆみ保育園)

新たな出会いと繋がりを大切に、この貴重な経験を楽しみながら進めていけたらと思っています。

松田 千香子 (江津市・里山子ども園わたぼうし)

どんな事にも前向きに挑戦！
県の保育士部会での出会いも大切に自分にできる事を見つけて頑張ります。

増野 建一 (益田市・雪舟保育所)

来年も引き続きお手伝い等を通して色々学びたいのでよろしくお願い致します。

谷口 千春 (かのあし・吉賀町双葉保育所)

今年度は部員の皆さんとの交流は多くはありませんでしたが、この出会いを大切にしたいと思っています。

大森 浩美 (雲南・桜ヶ台保育所)

先生方と同じ思いで取り組めるよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。

北野 和美 (邑智郡・因原保育所)

初めて役員をさせて頂きます。色々な事を吸収して役員の先生と一緒に頑張りたいと思っています。

吉中 馨 (浜田市・安城保育園)

初めての事ばかりですが、このご縁に感謝して皆さんと実りある活動ができたらと思っています。

来年度も引き続き
よろしくお願い
いたします。

令和3年度 島根県保育協議会 主任保育士・主幹保育教諭研修会

期 日：令和3年10月27日(水)

開催方法：オンライン

講 師：汐見 稔幸氏

演 題：「コロナ禍・コロナ後における子どもの主体性を育む環境のあり方」

収束を見せない新型コロナウイルス問題の中にあって、汐見先生のお話の中で私たちが学んだことは、子ども達の育ちについて、今まで以上に日々を試行錯誤すること、ねらいや意図を統一し、行事の見直しを行うことができるようになったことです。

これまでも、子ども達の豊かな育ちを目指し取り組んできた私たちの保育は、ますます磨きがかかり、コロナ後の方がより良い世界になっていると、胸を張れる日も近いのではないかと思います。

今回の研修では、県内の各保育所、保育園、認定こども園からzoomで参加をしていただきました。多くのご参加ありがとうございました。

研修後のアンケートから一部抜粋して紹介いたします。



みんなの声を聞いて! 聞いて!

HOT

ホッと



☆ミミズを探している子どもたち

「この中にかくれてるんだよね。」
「みんなでどかさう。」
「あっ! いたいた!」
「これはおとうさんミミズかな〜?」
「違うよ! おかあさんミミズだよ!」
「あっ! あかちゃんミミズもいるよ。」
「かわいい〜」
「うわっ! こっちは、はやミミズだ!
はやぶさだ〜! つかまえられるよ。」



「川あそび、だいすき! 飛び込みもできちゃうよ。」



Rちゃん「かえるとかたつむりとイモリ、どれであそぶ?」
Nくん「ぼくみてるだけ!」
「だってこわいけー」
そう話すNくんですが動かないものは平気。
カエル・イモリのひからびたものやヘビのぬけがらは大切にポケットにしまいこみお母さんを驚かせます。



「ほら、見て! おーきいバタつかまえたよ!」
「私も!」



☆どろんこあそび楽しいな 先生もおいでよ〜



♡「ね〜ね、何してるの?」

Bちゃん「指は、ここに置いて」
Aくん「?」
Bちゃん「指動かして」
Aくん「?」

こどものつぶやき

保育者「ズボン破れているけどどうしたの?」
子ども「え〜、どこ?」
子ども（破れている所を見て）
「大きくなったからだよ〜」とニコリ。
これからも毎日モリモリたくさん食べて大きくなってね。



☆「古墳の上からヤッホー!!」と
皆で声をそろえて叫んでいます

つばぎ



Aくん「やってあげようか。」
Bくん「ありがとう。」
Aくん「ぼくもまだ着替えてないんだけどね。」



☆箱の中にある木の实や落ち葉を見て
Aちゃん「わ〜、秋のにおいがするね!!」